

むかいしま ゆた しぜん い
『向島の豊かな自然と生きもの』
だい かい りんしもく ぶんるい
第49回 鱗翅目(チョウ・ガ)の分類

「チョウ」と「ガ」は鱗の翅を持ち、幼虫はイモムシ・ケムシとして知られています。
ガはチョウの20～30倍の種を持っており、チョウとガは人との関わりの多い虫なのでよく
目につく昆虫です。

夜間活動の多い「ガ」の成虫と出会う機会は少ない?!かもしれませんが、高見山山頂で
灯火採集をしているととてもたくさんの「ガ」に接することが出来ます。

昼間に活動する「ガ」の成虫もありますが、幼虫は昼夜を問わず活動し農業害虫となる
ものも多くて、庭で草花を育てるときには要注意の昆虫ですね。

この鱗翅目の分類に挑戦!と、力を込めて気合を入れて!!
…というのも、日ごろの虫整理が進んでいないので、なかなか時間のかかる作業が続きました。
大型種は名前も調べやすいのですが、小型種になると図鑑と実物を見比べてみてもなか
なか種名にたどり着かない。

たった1匹の「ガ」に数日かかることもありました。
しかし、名前を知り、その「ガ」の属が分かり、科にたどりつけ…と、とても勉強になりました。

昆虫採集を始めるきっかけとなった身近な昆虫の種類には、いったいどんなのがいるの
か?その種数は?

この鱗翅目の分類で分かったことは、「チョウ」は5科34種、「ガ」は25科250種を集め
ることが出来たこと。日本の鱗翅目全体の20分の1程度だろうか…

標本箱2つで表現するのはあまりにも大ざっぱでもの足りないのですが、どうかご理解く
ださいませ。

さんこうとしょ が げんしよくにほんがるいずかん じょう げかん ほういくしゃ
参考図書: 蛾…原色日本蛾類図鑑 (上・下巻) 保育社
ちょう にほんさんちょうるいひょうじゅんずかん がっけん
蝶…日本産蝶類標準図鑑 学研

はな とり こんちゅう うみべ あそ
～ 花と鳥と昆虫と海辺に遊ぶ ～
つるかめクラブ 江頭 正